

回 答 健康医療課 古田

男性の方が女性よりも10年早く色々な病気になって重症化し亡くなられている。平均寿命をみても女性の方が長生きしている。私たちも男性の健康づくりを重点にやってきていきたいと思っています。私たち自身もどのように働きかけていけば、健診を受けたり、早期発見しても治療に結びつかなかったりということを防げるのかを常々考えています。

どうしていったら良いかわからないが、今回無料クーポン発行するということで受診料を無料にしたら受けてくださらないかと思いましたが。特に胃がんは男性の死亡が多いため、女性のクーポンは結構あるが、男性向けに胃がんのクーポンをだしたいと考えているところです。

男性の受診についてのいい案がありましたら男性委員の方も多くみえるので教えていただくとありがたいと思います。

質問2への追加 古橋会長

受診率の年齢、高齢になるとがん等の進行がおそい、病気を持っている人も持っていない人も高齢になるほど意識の向上が必要。発病についての対応が遅れる。高齢になるほど病気の進行がおそいので気付いたときは遅かったということになるため啓発運動を考えて欲しい。

質問3 山田委員

資料2の1の目標でがん死亡率の減少があるが、胃がんや乳がん、子宮頸がんについての対策はあるが、肝臓がんに対する対策について事業内容に載せなくてもよいのかと思ったため、対策がありましたら教えてください。

回 答 健康医療課 古田

計画書37ページ(4)対策 ①ウイルス感染によるがんの発症予防の施策 参照

- ・肝炎ウイルス検査費用の助成(妊娠期・30歳以上)というところがあります。検診の時に肝炎ウイルス検査をやっており妊娠期、30歳以上の方に実施しており、無料クーポンも40歳～60歳で5歳間隔で発行して対策としてやっております。

質問4 古橋会長

計画書71ページ 表3子どもの血液検査の状況について

大変良いことだと思うが23年度のみしか載っていない。貴重なデータだと思うため5年間位の年次表を作って載せたらどうか、大変良いと思う。

回 答 健康医療課 古田

私たちもそういったデータが欲しいが、教育委員会出典のデータであるため教育委員会よりデータの提供をいただかないと載せられないため、教育委員会に頼んでみます。

質問4への追加 古橋会長

過去に西校の校医をしていたときに食事の検査等を実施した。協力してくれた親も子も多かったが、ある親さんに調査についてえらく叱られたことあるが協力をしてもらった。

もしこういうデータ(血液検査等)があればならとても貴重なデータなので教育委員会にお願いして、食育の先生に協力してもらわなくてははいけない。ぜひお願いしたい。

子どもを持つ親さん、こういうデータを見て敏感に感じられると思う。

回 答 健康医療課 古田

ご意見があったことをお伝えし、協力していただいてデータをそろえるようにします。

質問5 早川委員

①がんの無料クーポンについて、どのようなものであるのか?

②どこで検診は実施しているのか?

③休日でも受けられるのか？

回 答 健康医療課 福田

①無料クーポンについて現在実施しているのが、子宮がんが20歳～40歳までの5歳間隔の方と乳がん、大腸がん、肝炎ウイルスの方は40歳～60歳までの5歳間隔の方に無料クーポンを4月当初にお配りしてその券を持ってきていただくと、検診料金の自己負担分の700円分が無料となります。

②実施している会場については、胃がん、大腸がん、肝炎については健康福祉会館をはじめ、各総合事務所の保健センターや福祉センターで実施しており、苗木、阿木、坂本、神坂、落合などの事務所でも実施しています。子宮がん検診については集団検診の他に市民病院、坂下病院、林メディカルクリニック、東和クリニック、黒木医院、県立下呂温泉病院でも受診できます。乳がん検診については市民病院、坂下病院の2つの医療機関で受けられる体制をとっております。

③土曜日が1回と日曜日が3回やっている

質問5への追加 早川委員

三菱等大きな企業では企業内でも検診ができることがあるようですが、40～60歳では仕事の間となるため、企業等へも検診に出向いていく日も作ってもらえると良いのではないかと思います。

質問6 鷹見委員

資料2の4 健康づくり取り組み隊への意見

これについての補助は考えていないとのことですが、表彰制度とか登録するとよいことがあるという風にしなないと自発的な登録は増えないのではないかと思います。

登録することの魅力があると良いと思いました。

地域での健康づくりの取り組み以外にも職域にも健康づくりに取り組んでいる会社や企業も入れていただくとよいのではないかと思います。

回 答 健康医療課 古田

ご意見を参考にさせていただいて、私たちも職域との連携が非常に必要と考えていますので、今後検討し、本計画の方に入れさせていただきたいと思います。

質問7 古橋会長

資料2のCKDについて学校保健会で中川先生を中心に両教育委員会と一緒に取り組んでいる。子どもの精密検査を受けることについて低い値であるため安心しているが、CKDに関する知識の普及啓発についてどんなことを普及啓発をしているのか？

回 答 健康医療課 森

慢性腎臓病（CKD）については、計画書56ページから載っておりますが、対策については62ページにあります。

CKDに関する普及啓発と、市民の1人ひとりの自己管理の積極的な推進ということで、講演会を開催し、昨年もCKDの予防講演会を実施して沢山の方にお越しいただきましたが、CKDは自覚症状がないままに進行するものであるため、健診を早めに受けていただいでご自身の体を知っていただくことの大切さであるとか、検査結果の中で腎機能低下については特定健診の検査項目にもありますが、自覚症状がないことから放置される方もあるため早期から意識していただいで、予防に取り組んでいただくとということで、講演会やポスター等の媒体を通して市民の方に広く普及啓発していきたく思っております。

来年の1月には県もCKDの予防対策の取り組みを実施しているため、恵那市の方で中津川市と恵那市と合同でCKD予防講演会を実施する予定であります。広報等で皆さまにお知らせしていく予定であります。